

3日 水曜

ヨブ記



- 17:5 分け前を得るために
友の告げ口をする者、
その子らの目は衰え果てる。
- 17:6 神は私を民の物笑いとした。
私は顔につばきをかけられる者となった。
- 17:7 私の目は悲しみのためにかすみ、
私のからだは影のようだ。
- 17:8 正しい者はこのことに驚き、
罪のない者は
神を敬わない者に向かって憤る。
- 17:9 義人は自分の道を保ち、
手のきよい人は力を増し加える。
- 17:10 だが、あなたがたはみな、
帰って来るがよい。
私はあなたがたの中に
ひとりの知恵のある者も見いだすまい。
- 17:11 私の日は過ぎ去り、
私の企て、私の心に抱いたことも
破れ去った。
- 17:12 「夜は昼に変えられ、
やみから光が近づく。」と言うが、
- 17:13 もし私が、
よみを私の住みかとして望み、
やみに私の寝床をのべ、
- 17:14 その穴に向かって、
「おまえは私の父だ。」と言い、
うじに向かって、
「私の母、私の姉妹。」と言うのなら、
- 17:15 私の望みはいったいどこにあるのか。
だれが、私の望みを見つけよう。
- 17:16 よみの深みに下っても、
あるいは、
共にちりの上に降りて行っても。

ここにヨブの絶望があります。すべて彼のことばには、ここでは希望がありません。「神は私を民の物笑いとした。」とあります。私たちもそのような恥をかいたという経験があるでしょう。どこにも希望がないようですが、それは人から受けた扱いであり、人からのことばだからです。

その扱いがまるで神様のしわざのように、ヨブは言いますが、実はそれは違います。彼らがヨブを非難したのは神様の御心ではないのです。後に神様は彼らの非を明らかにしておられます。

ですからヨブの絶望は神様までもが苦しめる存在であるかのように思い込んでしまったところにあります。人がどうであっても、神様は愛と希望のお方です。神様を避けどころとしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

